Creative Enzymes®

アッカーマンシア・ムチニフィラ凍結乾燥粉末

Cat. No. PRBT-101-CEZ05

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アッカーマンシア・ムシニフィラは、卵形のグラム陰性□密嫌気性細菌であり、人間の腸内に共生しています。この細菌は不動で、胞子を形成しません。アッカーマンシア・ムシニフィラは2004年に人間の腸から初めて分離され、小腸と大腸の両方に存在し、特に粘液が最も多く生成される盲腸で高いレベルが見られます。A. ムシニフィラは人間や他の哺乳類の腸内細菌叢の3%から5%を占めています。さらに、A. ムシニフィラは母乳や授乳中の女性の乳腺組織にも□出され、母乳中のオリゴ糖をエネルギー、炭素、窒素の供給源として利用します。この細菌は母乳から乳児に垂直伝播され、早期の乳児期（約1ヶ月）に腸内細菌叢の発達に寄与し、成人期にはその豊富さが大幅に□加します。グローバルデータセットに基づくプール分析では、A. ムシニフィラは評価されたコホートの77.73%に存在し、西洋の集□からのコホートでは81.81%に存在することが示されました。
用途	AKKは病気の□減において重要な役割を果たします 1 腸疾患 AKKは腸の免疫機能を改善することで知られており、正常な腸機能の維持に重要です。AKKはさまざまな腸疾患に□して改善効果があることがわかっています。IBS、IBD、虫垂炎、アレルギー性下痢などの腸の炎症性疾患を持つマウスでは、AKKの豊富さが著しく減少し、糞便移植後にAKKの数が著しく□加し、症状が大幅に改善されます。 2 肝疾患 腸-肝軸は腸、微生物、肝臓を密接に結びつけることで宿主の健康を調節する役割を果たします。高脂肪食（HFD）によって誘発された脂肪肝マウスでは、腸の透過性が乱れ、腸のバリア機能が不均衡になり、体内でのAKKの豊富さが減少します。AKKの□口投与は腸内のAKKの豊富さを回復し、IL-6の発現を抑制し、アラニンアミノトランスフェラーゼのレベルを□加させ、腸内フローラの多□性を回復させ、肝障害を□減し、肝免疫を強化し、脂肪肝の症状を改善します。 3 神□障害 AKKは人間の神□系に作用し、さまざまな神□疾患を改善することができます。神□□性疾患の発展は腸内フローラの□化に関連していることがわかっており、神□□性疾患を持つマウスにAKKを移植することで、マウスの状態が著しく改善され、マウスの死亡率が低下し、寿命が延びます。AKKの豊富さはパーキンソン病、てんかん、その他の神□障害の発生率と負の相関関係にあります。 4 代謝疾患の調節 代謝障害におけるAKKの研究は主に肥□の代謝異常に焦点を当てており、AKKは糖尿病、高血□、高血糖などの一連の肥□誘発疾患に良い効果を示し、肥□を改善します。 5 癌の改善 AKKは体内でのプログラムされた細胞死受容体阻害剤の含有量と正の相関関係があり、非小細胞肺癌の症状を改善することができます。AKKは宿主の免疫チェックポイントに□する反□をブロックすることで癌細胞の抑制活性を回復させることが期待されており、これを利用して免疫療法を通じて体の抗腫瘍活性の調節を目指すことが期待されています。

製品情報

種	アッカーマンシア・ムチニフィラ
由来	人間
外□	オフホワイトからベージュの粉
活性	2000億TFU/g

使用法とパッケージング

包装	1kg アルミホイル & PEバッグ

保管・発送情報

保存方法	湿気や直射日光を避け、室温でしっかり閉じた容器に保管した場合、少なくとも24ヶ月。